

I (アイ)レンロック

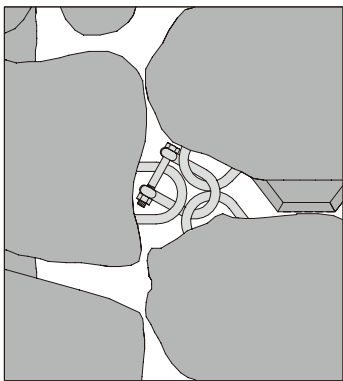
実績



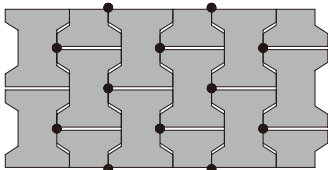
特長

1. 近自然石によって構成されたブロックを敷設するため、人工的な「通し目」による違和感を解消しより自然な雰囲気醸し出します。
2. 近自然石相互の空隙は河岸と通じているため、充填した客土の地盤が遮断されず、植物や昆虫、微生物など育成に「川」のもつ機能を維持します。
3. I型のブロック形状により相互が噛み合う構造となり「群体」として高い一体性を発揮します。
4. ブロックを構成する近自然石をつなぐ鉄筋はすべてコンクリートで被覆されており、また連結金具も亜鉛メッキ加工により錆や腐食に耐える強い構造となります。
5. 工場生産のユニット化により品質の均一性が得られ、施工の迅速化と効率化はもちろんカーブに対する施工性にも優れた経済的な省力化工法です。

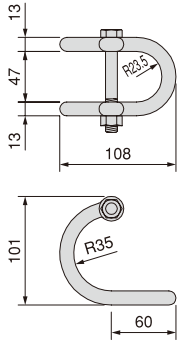
連結部



連結箇所図



連結金具



※φ13mm

参考 歩掛表

I (アイ)レンロック

(10㎡当り)

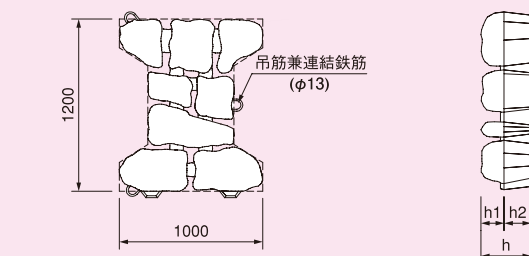
名 称	規 格	数 量	単 位	備 考
I (アイ) レンロック		10.00	個	
土木一般世話役		0.10	人	
ブロック工		0.20	人	
特殊作業員		0.10	人	
普通作業員		0.20	人	
ラフテレーンクレーン	25 t 吊	0.10	日	

客土工は別途、計上して下さい。

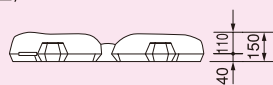
「工事歩掛要覧」より

寸法図

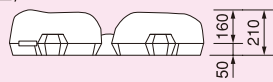
標準型



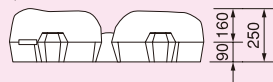
〈15型〉



〈21型〉



〈25型〉

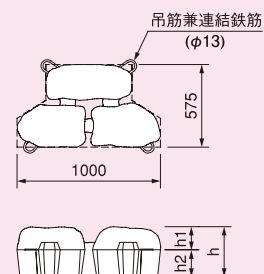


〈35型〉

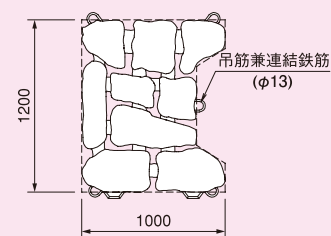


※吊鉄筋はブロック製作上増える場合があります。

端部A型



端部C型



※端部C型は右用、左用があります。

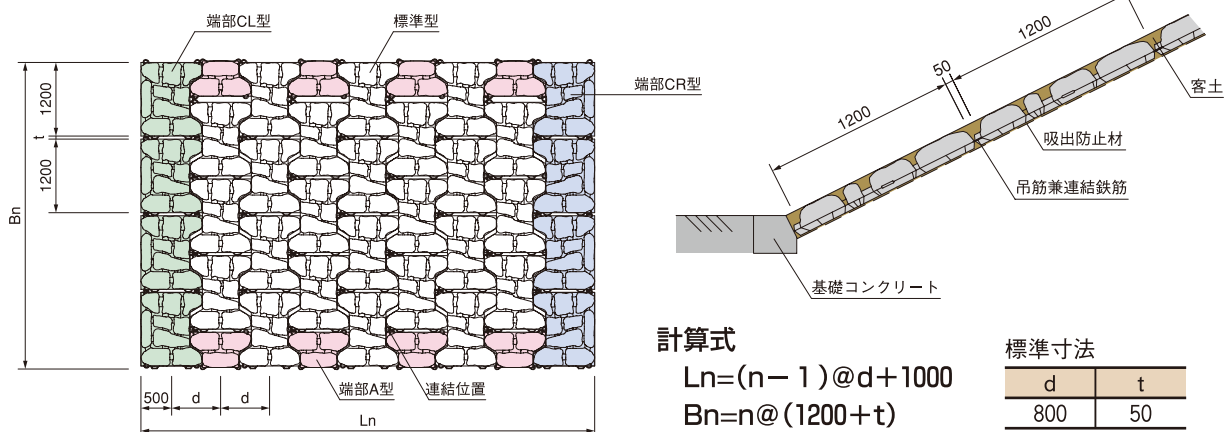
寸法表

規格	種類	基本寸法 (mm)	体積 (m³)	参考重量 (kg)	1m²当り使用量(個)	客土量(m³/m²)
15型	標準型	1000×1200×150	0.097	223	1	0.014
	端部A型	1000× 575×150	0.051	117	2	—
	端部C型	1000×1200×150	0.109	251	—	—
21型	標準型	1000×1200×210	0.135	310	1	0.036
	端部A型	1000× 575×210	0.070	161	2	—
	端部C型	1000×1200×210	0.150	345	—	—
25型	標準型	1000×1200×250	0.161	370	1	0.050
	端部A型	1000× 575×250	0.083	191	2	—
	端部C型	1000×1200×250	0.179	411	—	—
35型	標準型	1000×1200×350	0.215	495	1	0.096
	端部A型	1000× 575×350	0.111	255	2	—
	端部C型	1000×1200×350	0.239	549	—	—

※1：客土量はブロック天端より50mmまでの高さとしています。

※2：1 m²当り使用個数は標準配列のときの数量で、連結箇所数は1ヶ所です。

標準構造図



計算式

$$L_n = (n - 1) @ d + 1000$$

$$B_n = n @ (1200 + t)$$

標準寸法

d	t
800	50